

ようこそ 淡河町へ

おうごしゅくほんじんあと 淡河宿本陣跡

淡河宿は豊臣秀吉の命によって宿場町として整備され、江戸時代に入ってから東播と北摂を結ぶ湯山街道の要地として栄えた。国道と旧道との交差点に建つ旧本陣村上家は秀吉の命を受け宿場町建設に尽力した村上喜兵衛を祖にした旧家で、江戸・明治に至る長きにわたって淡河の大庄屋職や淡河宿本陣を務めた。



ロータリーゴルフ倶楽部

きたそお 北僧尾 農村歌舞伎舞台

江戸時代、農民の娯楽であった農村歌舞伎や人形浄瑠璃を上演していた農村舞台。現存する歌舞伎舞台の中で日本最古とされている。兵庫県の重要有形民俗文化財に指定されており、2014年10月に「平成の大改修」が完了した。



有馬ロイヤルゴルフクラブ

しゃくぶじ 石峯寺

神戸市内では有数の古刹の一つ。薬師堂、三重塔は、国指定の重要文化財。また、寺背の88ヶ所の奇岩や小径には、中世の石造物が点在し、寺の歴史を物語っている。特に、毎年3月に行われる「火渡りの行」は有名で、多くの参拝客が訪れる。



おうごはちまんじんじや 淡河八幡神社

神社の由緒は古く奈良時代末期にまで遡る総鎮守の宮。例年2月に行われる「御弓神事」は鎌倉初期の発祥と伝えられ、800年に渡り受け継がれている。10月の「秋季例大祭」では太鼓や神輿が長い行列となって農村風景の中を練り歩く「御旅神事（神戸市無形民俗文化財）」がとり行われる。



かつおぶどうのたき 勝雄不動滝

傍らには勝雄不動尊が祀られ、行場として名高い信仰の滝。巨岩の上に落差15mの滝が懸かり修験滝として遠近より訪れる人も多い。



道の駅 淡河

道の駅 淡河には、コンビニ、満月堂、ガソリンスタンド、郵便局が揃っています。淡河城址へは道の駅から徒歩5分、歩いても行けます！



おうごじょうし 淡河城址

淡河城は淡河氏代々の居城だったが、天正6～8年(1578～1580)羽柴秀吉による三木城攻めの際、有馬氏一万五千石の居城となり、慶長六年(1601)に三田城に移封された。その間約400年、城主14代に渡り淡河と共に栄えたが、現在は城の遺構を本丸と天守台、堀に残すだけとなっている。



こうべせいしょうねんこうえん 神戸青少年公園

昭和58年9月開設、公園面積89.8haの広大な自然公園。中山大杉池をとり囲むように湖畔広場やアスレチック広場、スポーツ公園が配され、緑の中でゆったりと自然を楽しむことができる。園内のデイキャンプ場は予約をすれば無料で利用できる。野外炉やログハウス調の炊事場などを使えるほか、鉄板や灰用スコップなど無料で貸しだしてくれるものあり、家族やグループで楽しめる。[デイキャンプの問合せ先] 神戸市総合コールセンター TEL: 078-333-3330

